

災害時の歯科保健医療支援と 「食べる」支援の連携

2025年8月30日(土) 14:40～15:25(45分)

ライトキューブ宇都宮 1階 小会議室

東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師
東京科学大学 大学院 救急災害医学分野/歯科公衆衛生学分野 非常勤講師
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部・日本大学松戸歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp

第6回とちぎ栄養ケアネットワーク

COI開示

発表者名: 中久木 康一

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業等はありません。

1993 北海道南西沖地震

1995 阪神・淡路大震災

2005 福岡県西方沖地震(玄界灘)

2007 能登半島地震

2008 岩手・宮城内陸地震

2009 台風9号(兵庫県佐用町)

2011 台風12号(奈良県)

2015 関東・東北豪雨(常総市)

2016 鳥取県中部地震

2017 九州北部豪雨

2019 台風15号

2004 新潟県中越地震

2007 新潟県中越沖地震

2024 令和6年能登半島地震

2018 北海道胆振東部地震

2011 東日本大震災

2019 台風19号

2016 熊本地震

2018 西日本豪雨

2020 令和2年7月豪雨

2007-09 厚労科学研究班

2011 日本歯科医学会委託研究

2012- 日本歯科医師会etc.

2018- 厚労省補助金事業研修会

2019-22 文科科学研究班

2022 厚労省指定研究

No taping, No Posting

お顔、お口は



**本オンライン研修会における映像・音声の、
撮影・録音・画面キャプチャーなどの保存は、
禁止します**

**一部または全部を、無断で複製・二次利用・
公開などする行為は、著作権法違反に
問われる場合があります**

災害時の歯科保健医療支援と 「食べる」支援の連携

- 災害時の口腔の環境と健康
- 災害時の歯科保健医療支援
- 「食べる」支援の連携

災害時の歯科保健医療支援と 「食べる」支援の連携

- 災害時の口腔の環境と健康
- 災害時の歯科保健医療支援
- 「食べる」支援の連携

災害時の歯科保健医療の課題

個人の口腔衛生管理環境が整わない

水、洗口所、口腔ケア用品、意欲
病院や施設における環境が整わない
水、口腔ケア用品、スタッフ
口腔機能が維持しにくくなる
運動量、会話量

歯科保健提供体制の縮小・崩壊

自治体（保健所・保健センター）
の体制
業務委託先の体制
（移動困難による参加困難）
口腔健康管理が困難

歯科医療提供体制の縮小・崩壊

歯科診療所の稼働
（移動困難による通院困難）

歯科医療救護活動の内訳（3月～9月まで）

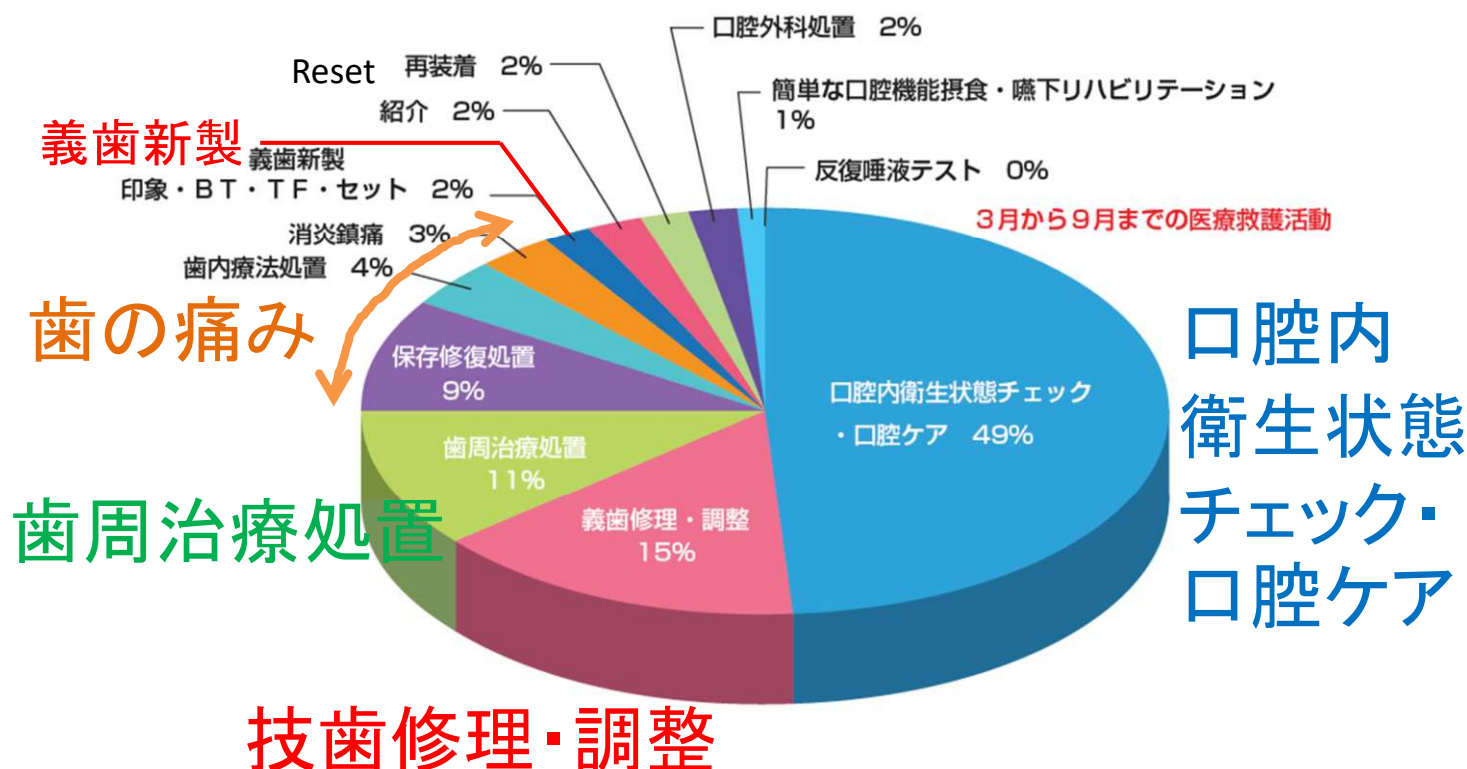
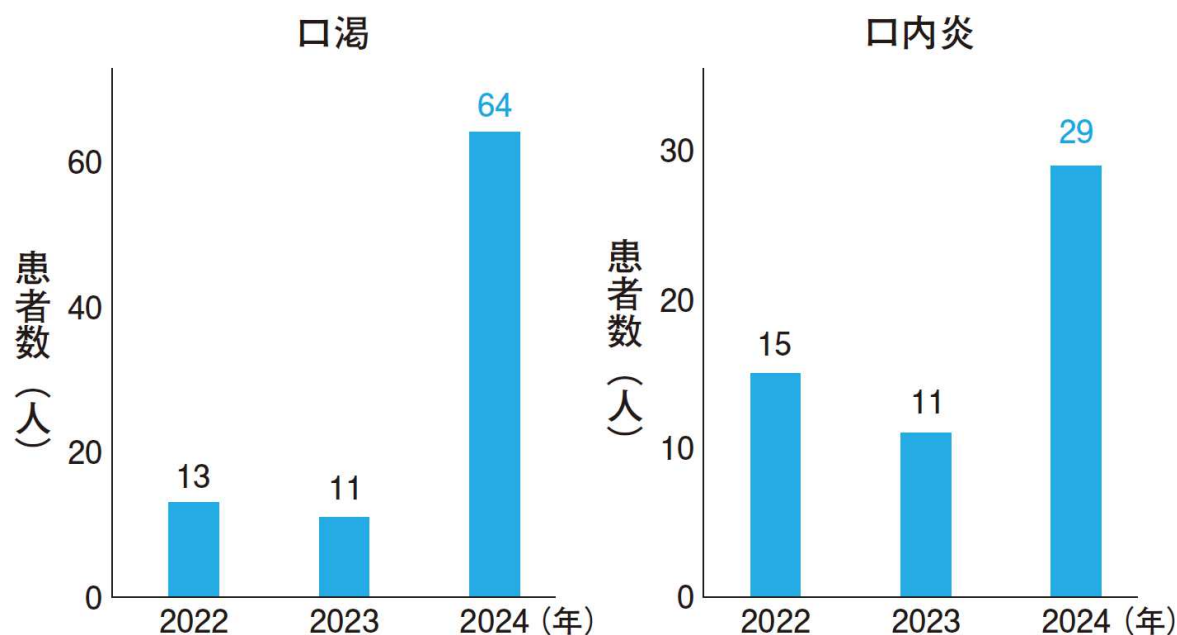


図2 能登半島地震後に増加した口腔の主訴

公立能登総合病院歯科口腔外科における1月1日～2月29日の2か月間の受診数。



【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続

2025.04.08 医学界新聞: 第3572号, https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572_05

呼吸器疾患＝災害関連死の30%

1995

阪神淡路
大震災

33.6%

310 / 922

2004年4月14日
神戸新聞

2004

新潟県
中越地震

23.1%

12 / 52

2009年10月21日
消防庁発表

2011

東日本
大震災

31.3%

86 / 275

2021年3月13日
河北新報, 帝京大学
(石巻市)

2016

熊本地震

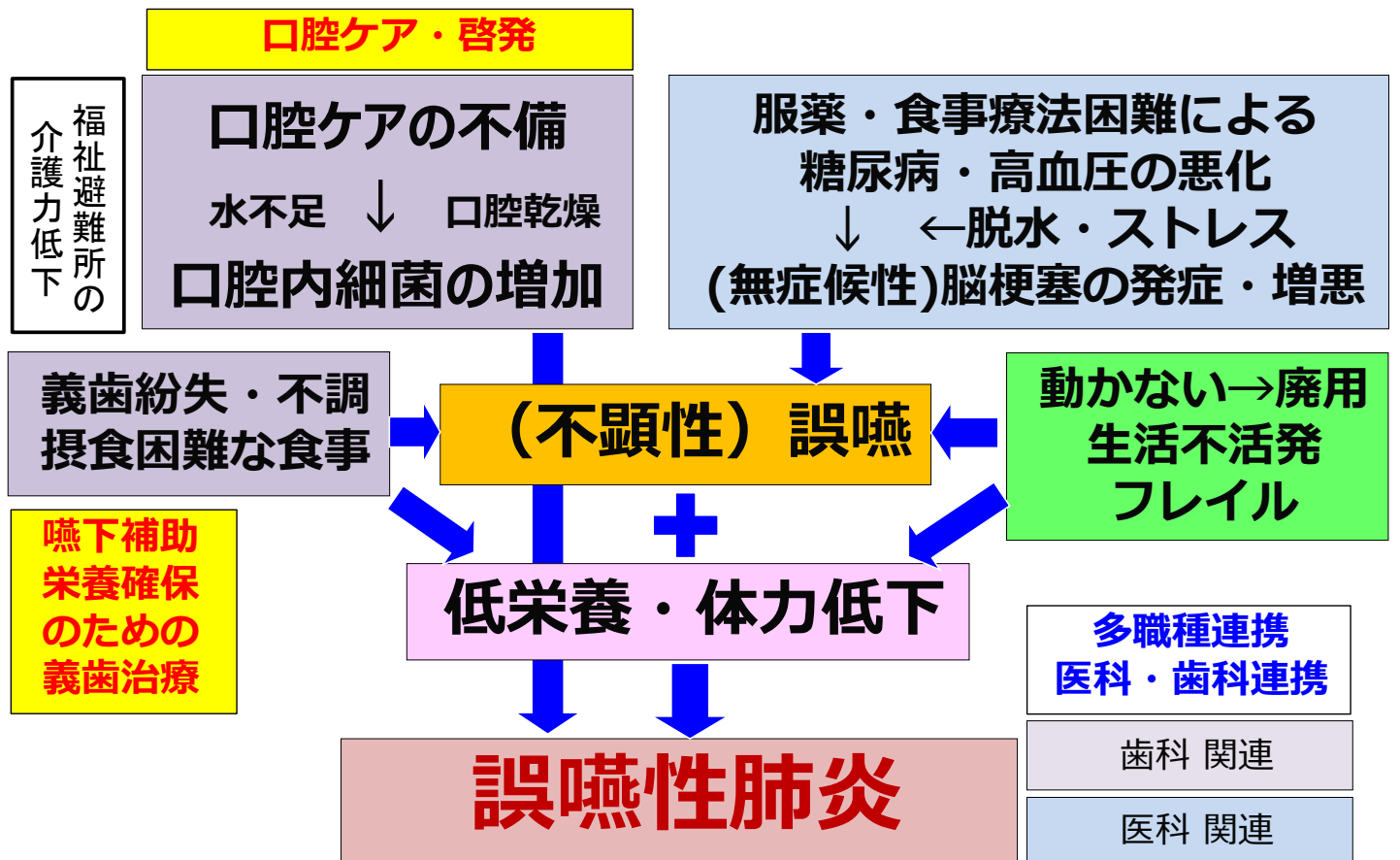
28.4%

56 / 197

2017年12月末現在
熊本県まとめ

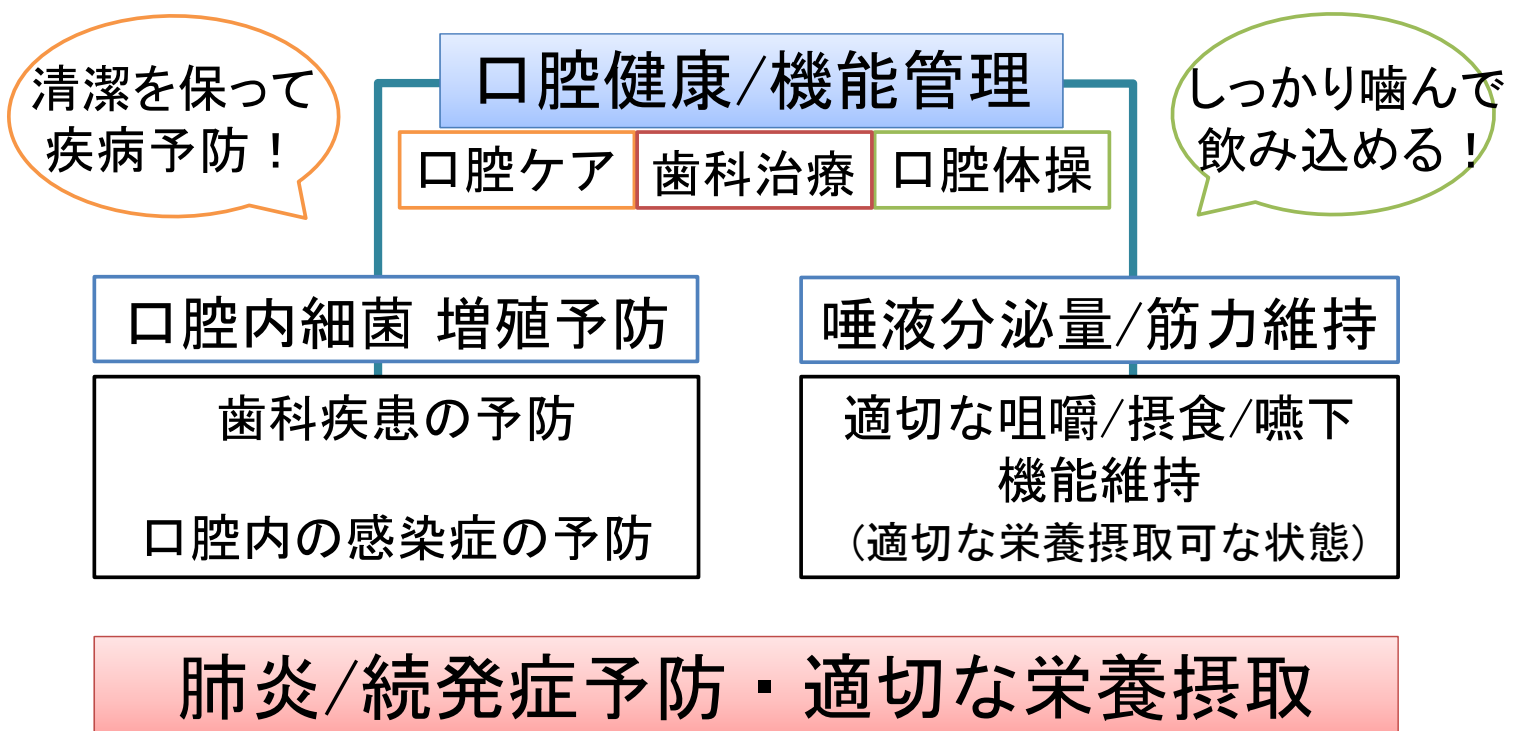
災害関連疾病の予防を目的とした災害時
要配慮者等に対する健康支援活動が重要

災害時肺炎の成因



足立了平, 災害歯科医学(医歯薬出版)第3刷 より改変追記

口腔健康管理/口腔機能管理



災害時の歯科保健医療支援と 「食べる」支援の連携

- ・ 災害時の口腔の環境と健康
- ・ 災害時の歯科保健医療支援
- ・ 「食べる」支援の連携

歯科保健医療における 時間経過ごとの問題点 と活動

図1 歯科保健医療における時間経過ごとの問題点と活動

フェーズ	時期(目安)	歯科的問題点	歯科保健医療活動
0 初動体制 の確立	発災～ 24時間	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 ●口腔領域の外傷	●口腔衛生用品の提供 (●応急歯科診療)
1 緊急対策	24～72 時間以内	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 ●口腔領域の外傷 ●義歯紛失・破損 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 ●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備 ●口腔ケアの啓発 ●応急歯科診療 ●口腔ケア
2 応急対策 (避難所 対策中心)	4日目～ 1・2カ月	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 ●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 ●食べる機能の低下 ●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備 ●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●食形態の確認・支援 ●応急歯科診療 ●口腔ケア
3 応急対策 (仮設住宅 入居まで)	1・2カ月～	●食べる機能の低下 ●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●応急歯科診療の支援 ●口腔ケアの支援

歯科保健医療における時間経過ごとの問題的と活動

保健医療活動におけるフェーズ	0 初動体制の確立	1 緊急対策	2 応急対策 (避難所対策中心)	3 応急対策 (仮設住宅入居まで)
時期(目安)	発災～24時間	24～72時間以内	4日目～1・2か月?	1・2か月?～
歯科的 問題点	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良	
	●口腔領域の外傷	●口腔領域の外傷 ●義歯紛失・破損 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥	●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 ●食べる機能の低下	●食べる機能の低下
		●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保	●歯科医療・治療の確保 ●口腔ケア・介助の確保
	●口腔衛生用品の提供	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備	●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備	
歯科保健 医療活動		●口腔ケアの啓発	●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●食形態の確認・支援	●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導
	(●応急歯科診療)	●応急歯科診療	●応急歯科診療	●応急歯科診療の支援
		●口腔ケア	●口腔ケア	●口腔ケアの支援

歯科の新常識「災害時の歯科活動」, LION Dent.File vol.57, 2025May より改変
日本災害時公衆衛生歯科研究会HPIに転載許可を得て転載 <https://jsdphd.umin.jp/forcitizens.html>



災害時の歯科の活動

応急歯科診療



口腔ケア



応急歯科診療



歯科保健活動

(口腔清掃の啓発・指導／口腔ケア／口腔機能・健康管理)

歯科の新常識「災害時の歯科活動」, LION Dent.File vol.57, 2025May

日本災害時公衆衛生歯科研究会HPIに転載許可を得て転載 <https://jsdphd.umin.jp/forcitizens.html>

災害時の在宅高齢者に対する口腔ケア

時期	対象	場所
急性期	一般	避難所や被災住宅など、整わない環境下で生活する方々への口腔ケア
急性 ～ 慢性		急性期病院における口腔ケア
慢性		在宅高齢者に対する口腔ケア

口腔ケアの啓発,
口腔ケア用品の提供

介護福祉士,
など

歯科衛生士,
歯科医師
など

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の強化について

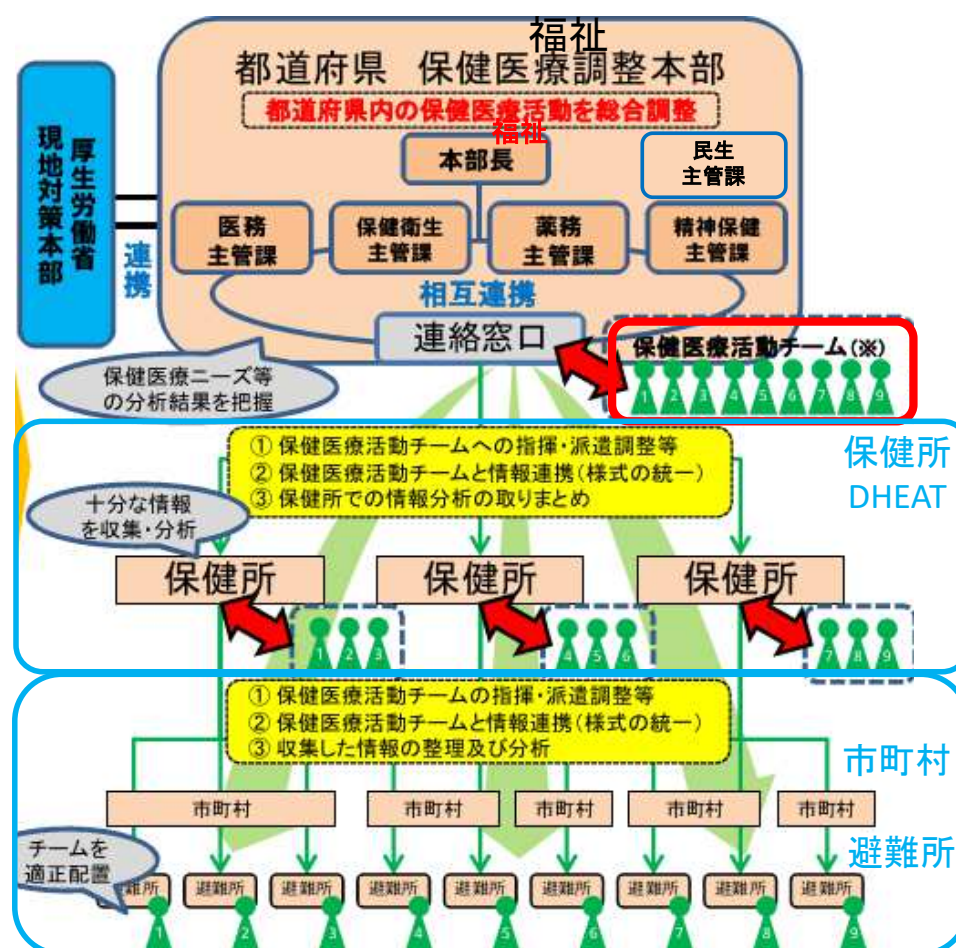
保健医療福祉活動チーム

災害派遣医療チーム(DMAT)、日本医師会災害医療チーム(JMAT)、日本赤十字社の救護班、独立行政法人国立病院機構の医療班、全日本医療支援班(AMAT)、**日本災害歯科支援チーム(JDAT)**、薬剤師チーム、災害支援ナース等の看護師チーム(被災都道府県以外の都道府県、市町村、日本看護協会等の関係団体や医療機関から派遣された看護職員を含む)、保健師等チーム、管理栄養士チーム、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)、災害派遣精神医療チーム(DPAT)、日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)、災害時感染症制御支援チーム(DICT)、災害派遣福祉チーム(DWAT)、その他の災害対策に係る保健医療福祉活動を行うチーム

<https://www.mhlw.go.jp/content/001473923.pdf>

© 2025 DPHD

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について



科 発 0722 第 2 号
医 政 発 0722 第 1 号
健 発 0722 第 1 号
薬 生 発 0722 第 1 号
社 援 発 0722 第 1 号
老 発 0722 第 1 号
令 和 4 年 7 月 22 日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医 政 局 長
健 康 局 長
医 薬・生活衛生局長
社 会・援 護 局 長
老 健 局 長

〔※〕凡例

保健医療活動チーム(DMAT、日本赤十字社の救護班、JMAT、国立病院機構の医療班、AMAT、**日本災害歯科支援チーム(JDAT)**、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、JDA-DAT、DPAT、JRAT、その他)
保健医療福祉活動に係る関係機関、災害福祉支援ネットワーク本部(DWAT本部)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について、令和4年7月22日

保健・医療・福祉の活動チームによる支援（主なもの）



DMAT現場活動（患者搬送）



保健師による避難所巡回（輪島市）



1,5次避難所内に設置したDWAATによる「なんでも福祉相談コーナー」

DMAT（ディーマット：災害派遣**医療**チーム）
Disaster Medical Assistance Team

DPAT（ディーパット：災害派遣**精神医療**チーム）
Disaster Psychiatric Assistance Team

JMAT（ジェイマット：日本医師会災害**医療**チーム）
Japan Medical Association Team

JDAT（ジェイダット：日本災害**歯科**支援チーム）
Japan Dental Alliance Team

DHEAT（ディーヒート：災害時**健康危機管理**支援チーム※） ※保健所等の指揮調整機能支援
Disaster health emergency assistance team

DWAT（ディーワット：災害派遣**福祉**チーム）
Disaster Welfare Assistance Team

JRAT（ジェイラット：一般社団法人 日本災害**リハビリテーション**支援協会）
Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

JDA-DAT（ジェイディーエーダット：日本**栄養士**会災害支援チーム）
The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team

DICT（ディーアイシーティー：災害時**感染制御**支援チーム）
Disaster Infection Control Team

日赤救護班（日本赤十字社）

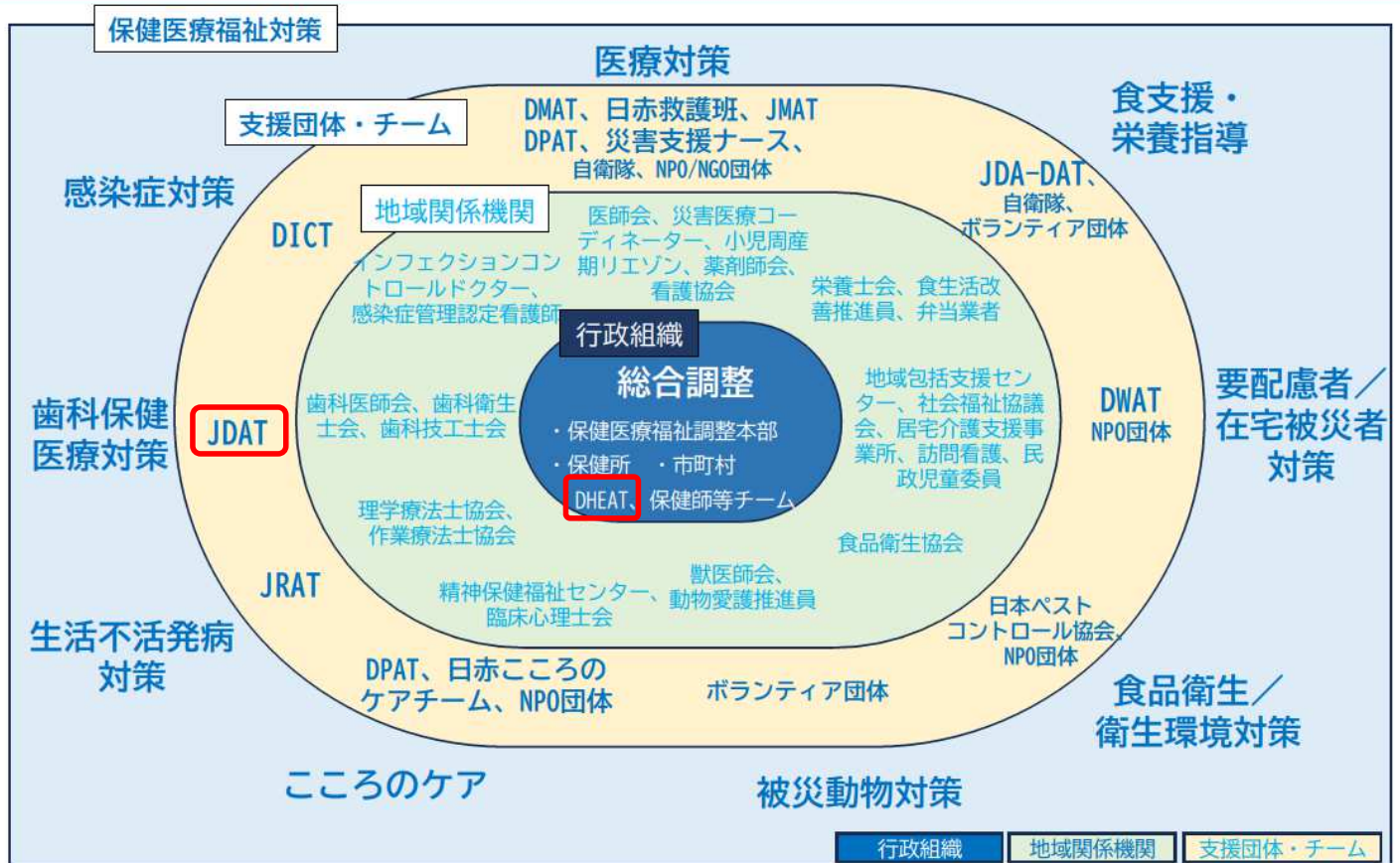
保健師等チーム（自治体職員）

等

7

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、
「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

災害時の主な保健医療福祉活動（施策）と関係団体【例】



出典：DHEAT活動ハンドブック（第2版）（令和5年3月）67頁より引用・編集

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、
「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

6

Japan Dental Alliance Team (JDAT、日本災害歯科支援チーム)

令和4年(2022年)3月2日正式発足

【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に**地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科診療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的**としている。

(後略)

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) 活動要領 (第2版)



- JDAT (日本災害歯科支援チーム)は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- 歯が痛い、口内炎ができた
- 入れ歯が痛い、ゆるい
- 歯の詰め物がとれた
- 食事が食べにくい、むせる



歯科保健活動

歯や口のお困りごとなどを確認し、災害時の生活における工夫の仕方をおひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。

災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- お水が少ない時の歯みがきの工夫
- お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしたりします。

- お口の体操
- 歯や口と健康 講和



地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

<連絡先> **歯科医師会 ***-***-***

【構成(例)】

歯科診療所休診時期(活動開始時)

歯科医療救護チーム

歯科医師2、事務職1

歯科医師2、歯科衛生士1、歯科技工士1



歯科診療所再開時期



歯科保健支援チーム

歯科医師2、歯科衛生士2

歯科保健支援チーム

歯科医師1、歯科衛生士2～3

【期間(例)】 4日間程度／チーム

月	火	水	木	金	土	日
	チームA		引継	チームB		引継
	チームC		引継	チームD		引継

© 2024 DPHD

災害対策基本法等※の一部を改正する法律案の概要

内閣府(防災)

趣旨

※災害対策基本法、災害救助法、水道法、大規模災害復興法、大規模地震対策法、内閣府設置法

令和6年能登半島地震の教訓等を踏まえ、災害対策の強化を図るため、国による支援体制の強化、福祉的支援等の充実、広域避難の円滑化、ボランティア団体との連携、防災DX・備蓄の推進、インフラ復旧・復興の迅速化等について、以下の措置を講ずる。

災害対策基本法等の一部を改正する法律(令和7年法律第51号)

- 令和7年5月28日 国会で可決・成立
- 令和7年6月4日 公布・一部施行
- 令和7年7月1日 全面施行

「災害対策基本法等の一部を改正する法律案」の閣議決定について

令和7年2月14日
内閣府政策統括官(防災担当)

https://www.bousai.go.jp/taisaku/minaoshi/kihonhou_06.html

②被災者支援の充実

1) 被災者に対する福祉的支援等の充実

★災害救助法、災害対策基本法

- 高齢者等の要配慮者、在宅避難者など多様な支援ニーズに対応するため、災害救助法の救助の種類に「福祉サービスの提供」を追加し、福祉関係者との連携を強化。災害対策基本法においても「福祉サービスの提供」を明記。
- 支援につなげるための被災者、避難所の状況の把握。



車中泊への対応



高齢者等への対応

2) 広域避難の円滑化 ★災害対策基本法

- 広域避難における、避難元及び避難先市町村間の情報連携の推進。
- 広域避難者に対する情報提供の充実。
- 市町村が作成する被災者台帳について、都道府県による支援を明確化。

3) 「被災者援護協力団体」の登録制度の創設

★災害対策基本法、災害救助法

- 避難所の運営支援、炊き出し、被災家屋の片付け等の被災者援護に協力するNPO・ボランティア団体等について、国の登録制度を創設。
- 登録被災者援護協力団体は、市町村から、被災者等の情報の提供を受けることができる。
- 都道府県は、災害救助法が適用された場合、登録団体を救助業務に協力させることができ、この場合において実費を支弁。
- 国は、必要な場合、登録団体に協力を求めることができる。国民のボランティア活動の参加を促進。



炊き出し



被災家屋の片付け

4) 防災DX・備蓄の推進 ★災害対策基本法

- 被災者支援等に当たって、デジタル技術の活用。
- 地方公共団体は、年一回、備蓄状況を公表。

災害救助法施行令(新)

(医療、福祉、土木建築工事及び輸送関係者の範囲)

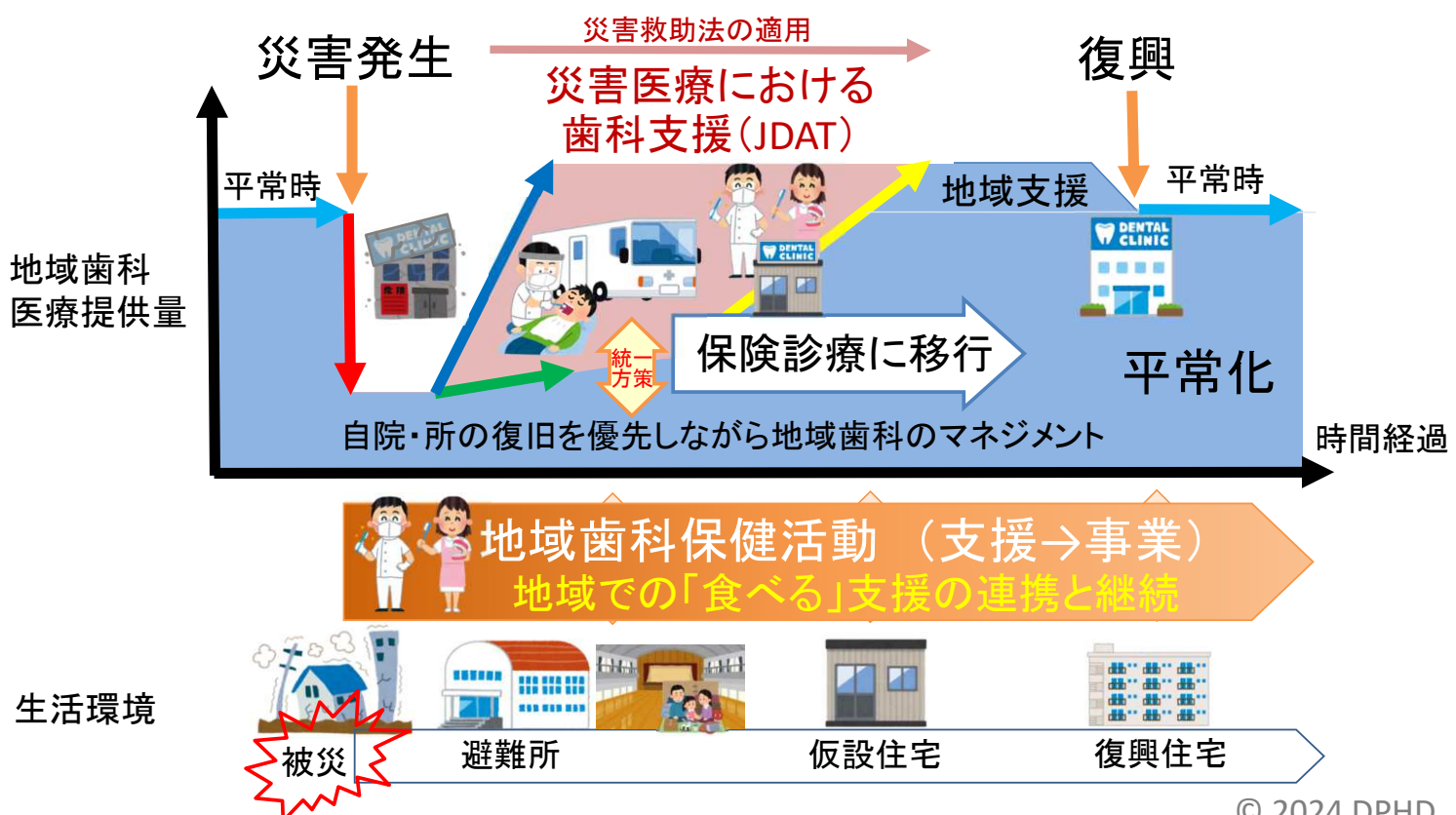
第四条 法第七条第一項及び第二項に規定する医療、福祉、土木建築工事及び輸送関係者の範囲は、次のとおりとする。

- 一 医師、歯科医師又は薬剤師
- 二 栄養士、管理栄養士、保健師、助産師、看護師、准看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、救急救命士、言語聴覚士、歯科衛生士又は歯科技工士
- 三 保育士、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士、公認心理師又は児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十四号)第二十四条の二十六第二項に規定する指定障害児相談支援若しくは障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第五十一条の十七第二項に規定する指定計画相談支援に従事する者として内閣府令で定める者

<https://laws.e-gov.go.jp/law/322CO0000000225>

支援活動の移行

(災害医療→保険医療, 支援活動→地域事業)



災害時の歯科の役割

役割	対象	連携
個人識別への協力	犠牲者	警察 海上保安庁 監察医 など
歯科医療活動	歯・口腔の健康 問題を抱える人 痛みのある人 義歯破損・不適合の人 通院中だった人 歯科診療所へのアクセスが無い	災害拠点病院 DMAT / JMAT 日本赤十字社 災害医療コーディネーター など
歯科保健活動	歯・口腔の健康 問題のない人 特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害) 有病者(糖尿病など) 乳幼児・小児 など 大きな人口集団が発生	自治体／保健所 保健センター 地域の事業所 地域包括支援センター など

災害時の口腔保健, 口腔保健・予防歯科学(第2版), P315, 医歯薬出版, 東京, 2023

災害時の歯科保健医療支援と「食べる」支援の連携

- ・災害時の口腔の環境と健康
- ・災害時の歯科保健医療支援
- ・「食べる」支援の連携

避難所生活で健康に過ごすために

～ 以下の点にご注意ください ～

水分・塩分
補給食中毒
注意うがい
歯みがき

マスク着用

① 水分・塩分補給
をこまめに

トイレを気にして水を飲む量が減りがちです。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

② 手を清潔に



食事の前やトイレの後には手洗いを。流水が使えないときは、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

③ 食中毒に注意！



出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

④ 体の運動



エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。

⑤ うがい・歯磨き



うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

⑥ 十分な睡眠・休息



誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。

⑦ 必要なときには
マスクを着用

咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこり避けるために、必要なときにはマスクを使いましょう。

⑧ 薬で困っている
場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

手の清潔

体の運動

十分な
睡眠・休息薬剤
(体調管理)次の方は避難所の
事務局に申し出ましょう厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

妊娠中の方



マタニティマークをつけた妊婦さんにご配慮をお願いします。

産後の方・小さいお子さま
をお連れの方

病気などで特別な食事の配慮が必要な方

妊産婦・乳幼児
特殊食品

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足

医科
看護
薬事
精神服薬・食事・運動療法困難で
糖尿病・高血圧の悪化

ストレス

脱水

無症候性脳梗塞発症・増悪

歯科

口腔ケアの不備

口腔内細菌の増加

義歯紛失・不調
摂食困難な食事

リハビリテーション

運動不足⇒廃用

(不顕性)誤嚥しやすくなる

連携が必要！

医科・歯科

リハ・栄養

介護・福祉

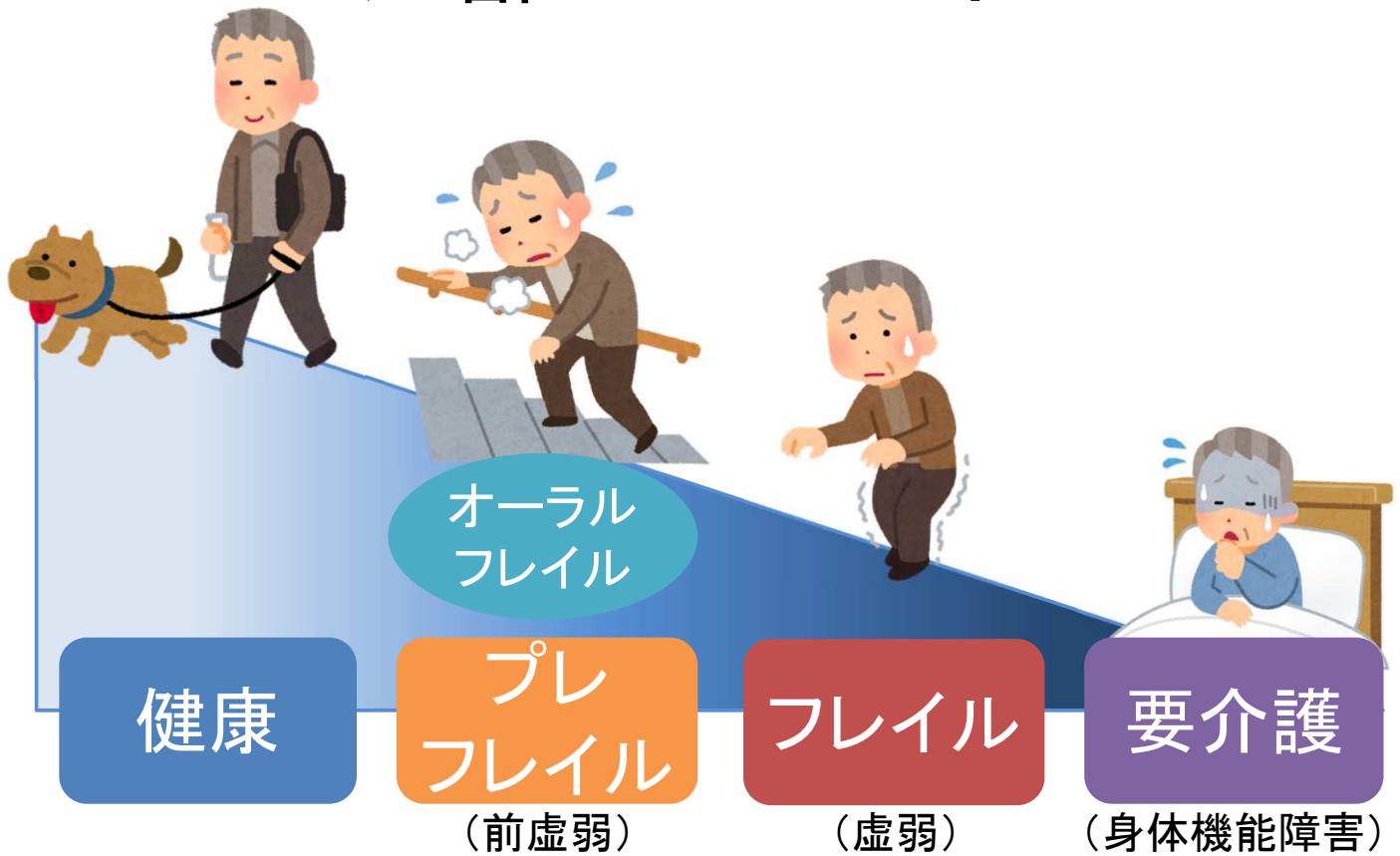
行政・保健所

栄養

免疫低下・低栄養

誤嚥性肺炎の発症

加齢 と フレイル



★ オーラルフレイル概念図 一般市民向け



シェアする ?



きりにつながってしまいます。

避難生活が長引く被災地では、高齢の人も多く、健康状態が心配されています。

被災地で問題視されているのが、心身の衰えを意味する「フレイル」です。

フレイルとは、介護が必要となる状態と、健康の間。

つまり、さまざまな機能が衰えてきた状態で、放っておくと病気や寝た



フレイルを改善させるには



「フレイル状態」にある船山さんを回復させるため、河瀬さんが最も重視したのが、**栄養士や作業療法士など、ほかの多くの職種との連携**です。

まず、栄養士と一緒に、食べられる食事のかたさを確かめます。

また、口を動かす体操を教え、「噛んでのみ込む力」を回復させます。

さらに、全身の筋力をつけるため、作業療法士がリハビリを指導しました。

1か月後、船山さんは、毎日2時間の散歩ができるようになるほど回復していました。その理由は、弁当を普通に食べられるほど、物を噛む力と飲み込む力を取り戻したことにありました。

食事がとれることで栄養状態も改善。

全身の筋力も戻りつつあります。



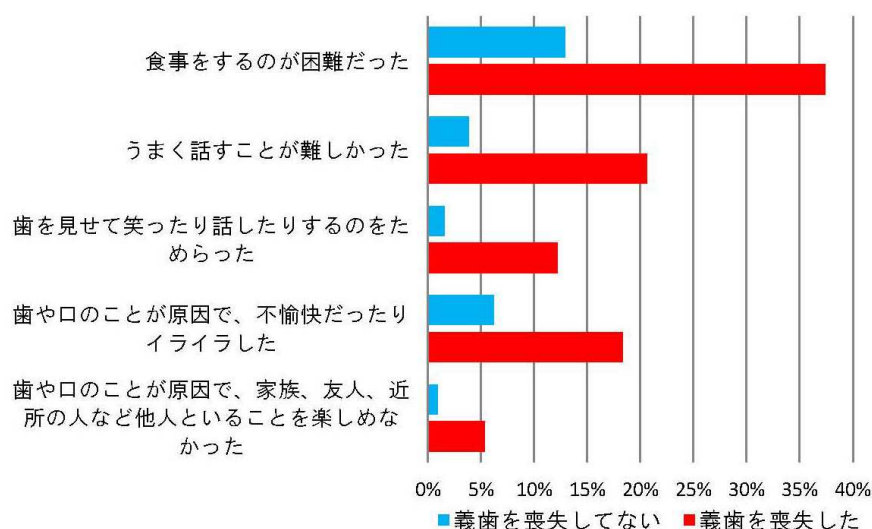
災害時の義歯喪失の食事や会話への影響

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人

17.3% (131人)

義歯を使用しているが喪失しなかった
82.7% (627人)

義歯を
喪失した



食べられない

話せない

笑えない

イライラする

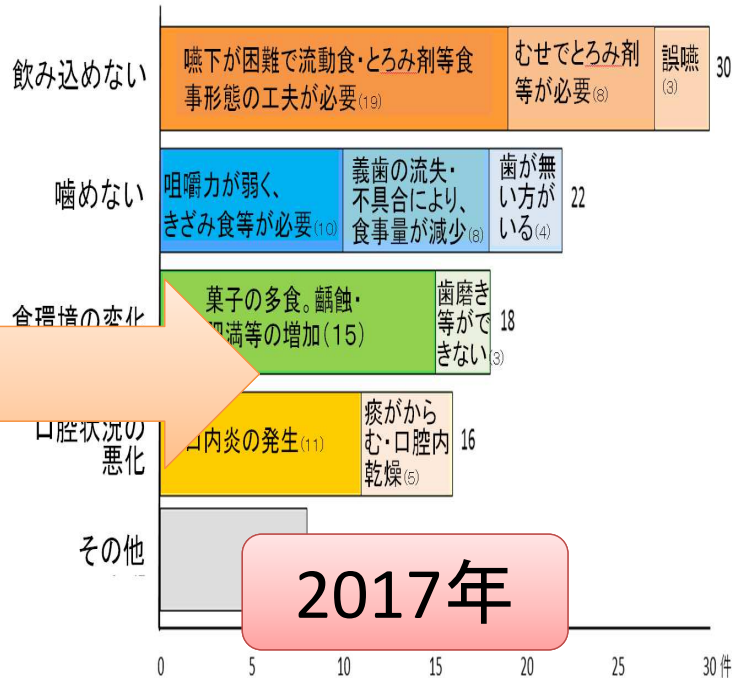
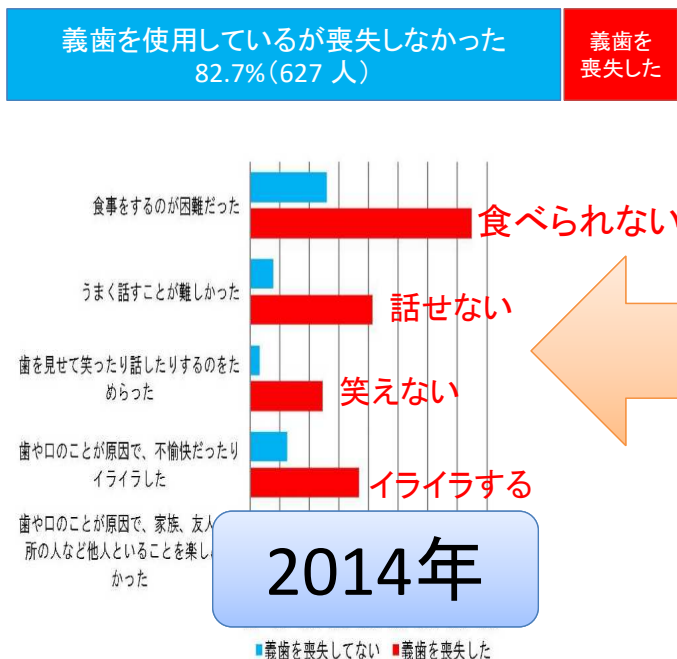
楽しめない

災害時の義歯喪失の 食事や会話への影響

派遣栄養士が報告した
「口腔保健」問題の質的解析
JDA-DATエビデンスチームによる東日本大震災 活動報告書分
析（発災1か月～6か月後、n=599）

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人

(131人) 17.3%



Yukihiro Sato et. al., Impact of Loss of Removable Dentures on Oral Health after the Great East Japan Earthquake: A Retrospective Cohort Study. Journal of Prosthodontics, 2014 Sep 14. doi: 10.1111/jopr.12210.

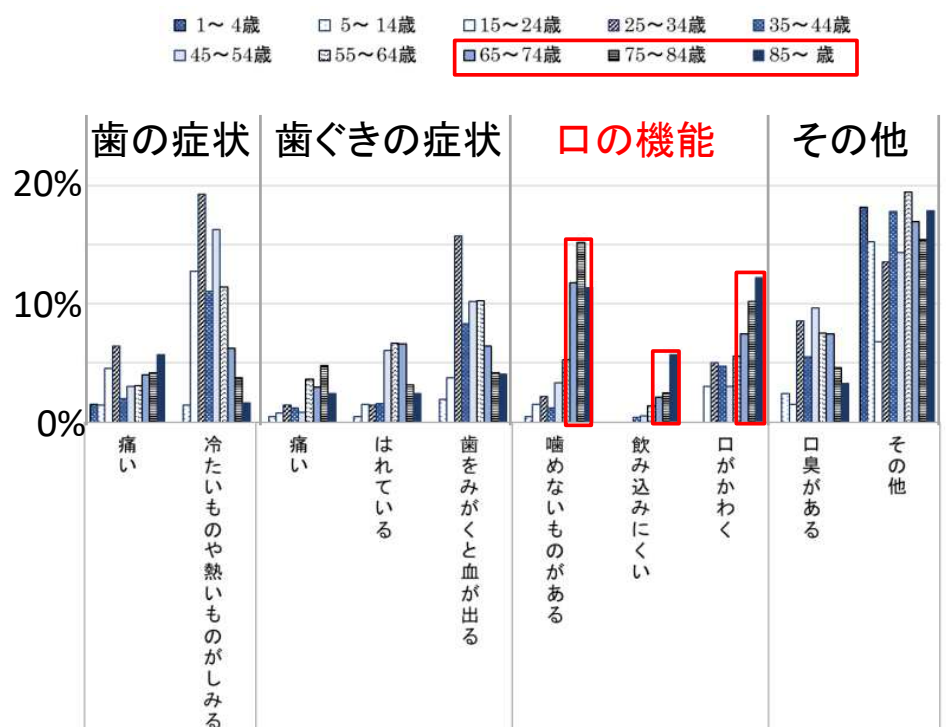
笠岡（坪山）ら、日摂食嚥下リハ会誌、21(3):191-199, 2017,

4割は歯や口に「気になるところ」があり、 高齢者の1割以上は「噛めないものがある」

6. 歯や口の状態

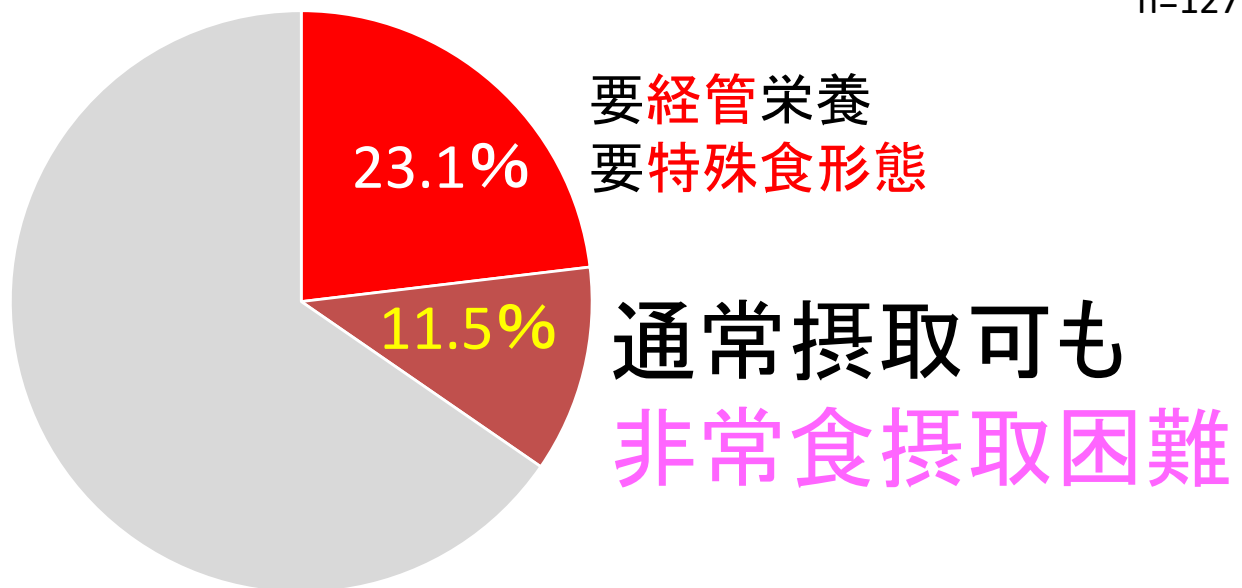
歯や口の状態について気になるところがないと回答した者は全体の 58.9%であった。この割合は年齢階級が上がるとともに低値を示した。

歯の症状として「歯が痛い」、「冷たいものや熱いものがしみる」、または歯ぐきの症状として「痛い」、「はれている」、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合は 25 歳以上 65 歳未満の年齢階級で高く、「噛めないものがある」と回答した者の割合は 65 歳以上の年齢階級で 10%を超え、その後の年齢階級でも高値を示した。



地域在住の要介護高齢者のうち、 災害時に「食べる」工夫が必要な方々

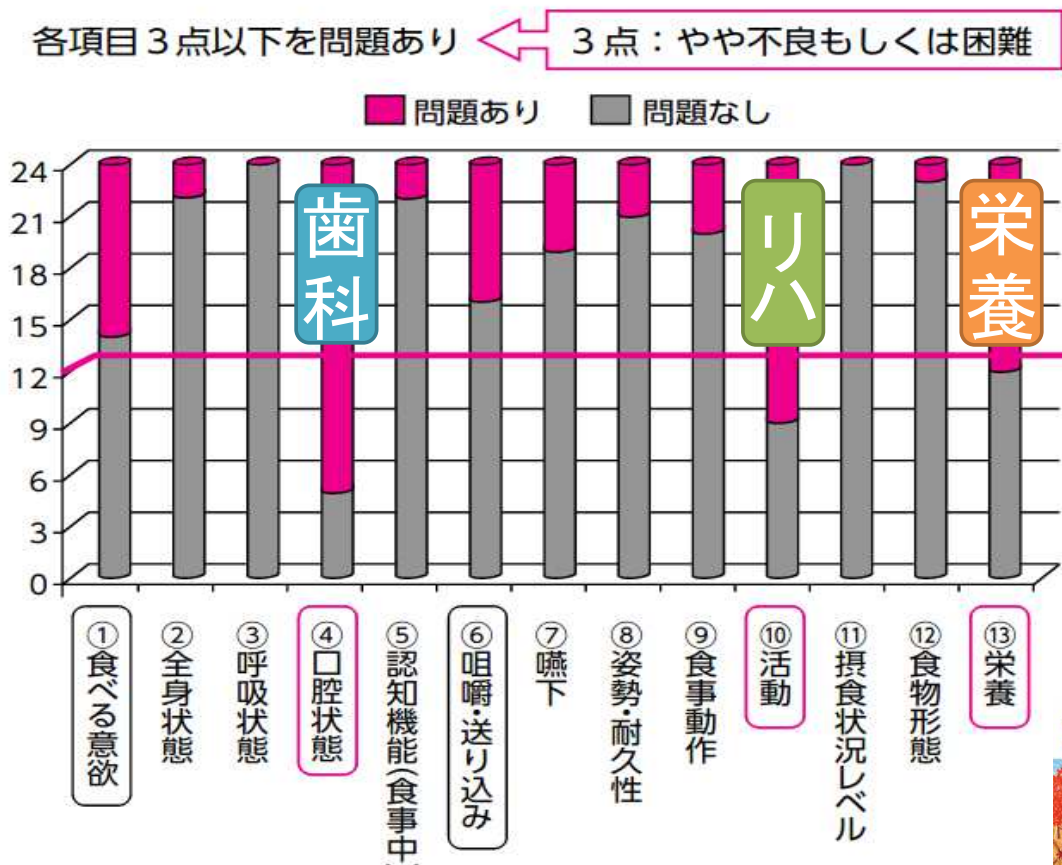
新宿区の要介護高齢者
n=1271



Estimating nutrition intake status of community-dwelling elderly people requiring care in disaster settings:
A preliminary cross-sectional survey.

Tashiro S, Kawakami M, Oka A, Liu F, Nishimura A, Ogawa C, Hagai F, Yamamoto S, Yazawa M, Liu M. J Rehabil Med. 2019 Mar 6.

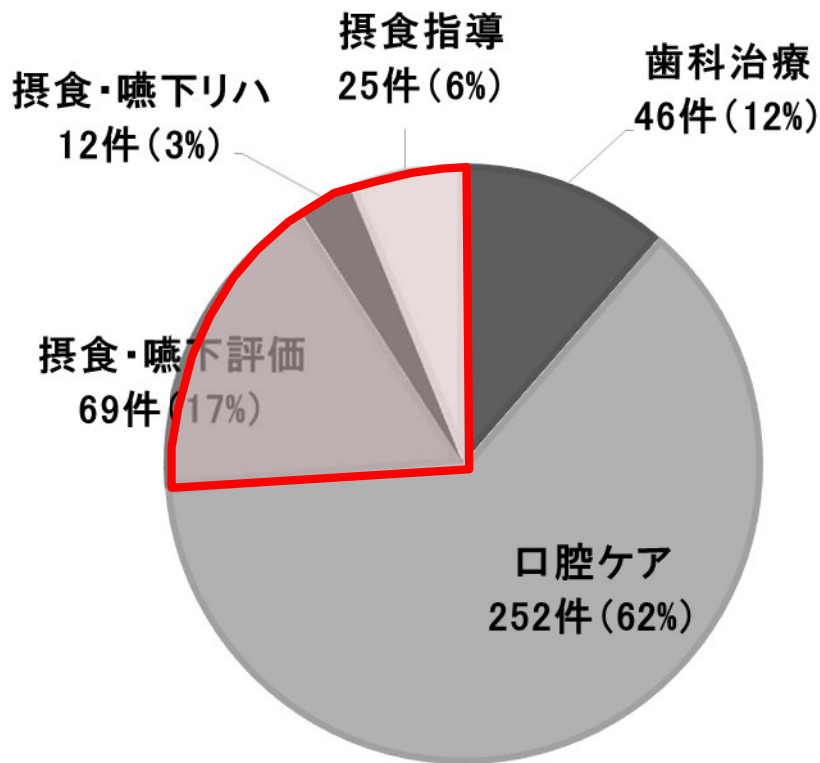
図2: 平成28年熊本地震後早期(2日～14日)におけるKTバランスチャートを用いた評価(n=24)



小山珠美(NPO法人口から食べる幸せを守る会), 震災による避難所での二次的合併を回避する
KTバランスチャートを使用した包括的支援の実際, <特集>多職種で取り組む災害時の食支援,
地域保健 2017年11月号, 第48巻6号, 東京法規出版



図3 南阿蘇地区における歯科支援活動実績



熊本地震後の南阿蘇地区において口腔機能支援を通じて多職種と連携した「食べる」支援活動の報告，
日本災害食学会誌，Vol6(2)，66-76，2019

災害時「食べる」連携委員会 (試行コース(D-EATs)実施中)

- ・ 特にフレイル予防、誤嚥性肺炎予防には、被災直後からの”「食べる」支援”が重要
- ・ それぞれの”「食べる」支援”が連携して補いあって、はじめて、安全かつ適切に栄養を確保する

保健所・保健センター、DHEAT

JMAT(日本医師会災害医療チーム)

医師、看護師、薬剤師など

DPAT(災害派遣精神医療チーム)

精神科医師、精神保健福祉士、
公認心理師など

JDA-DAT(日本栄養士会
災害支援チーム)
管理栄養士など

JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、など

DWAT(災害福祉支援チーム)

社会福祉士、介護福祉士、
介護支援専門員など

居住環境(調理環境、
食卓、食具、トイレなど)

災害支援ナース、NPOなど

「食べる」機能から
見た連携が必要

JDAT(日本災害歯科支援チーム)
歯科医師・歯科衛生士など
(災害歯科保健医療連絡協議会)

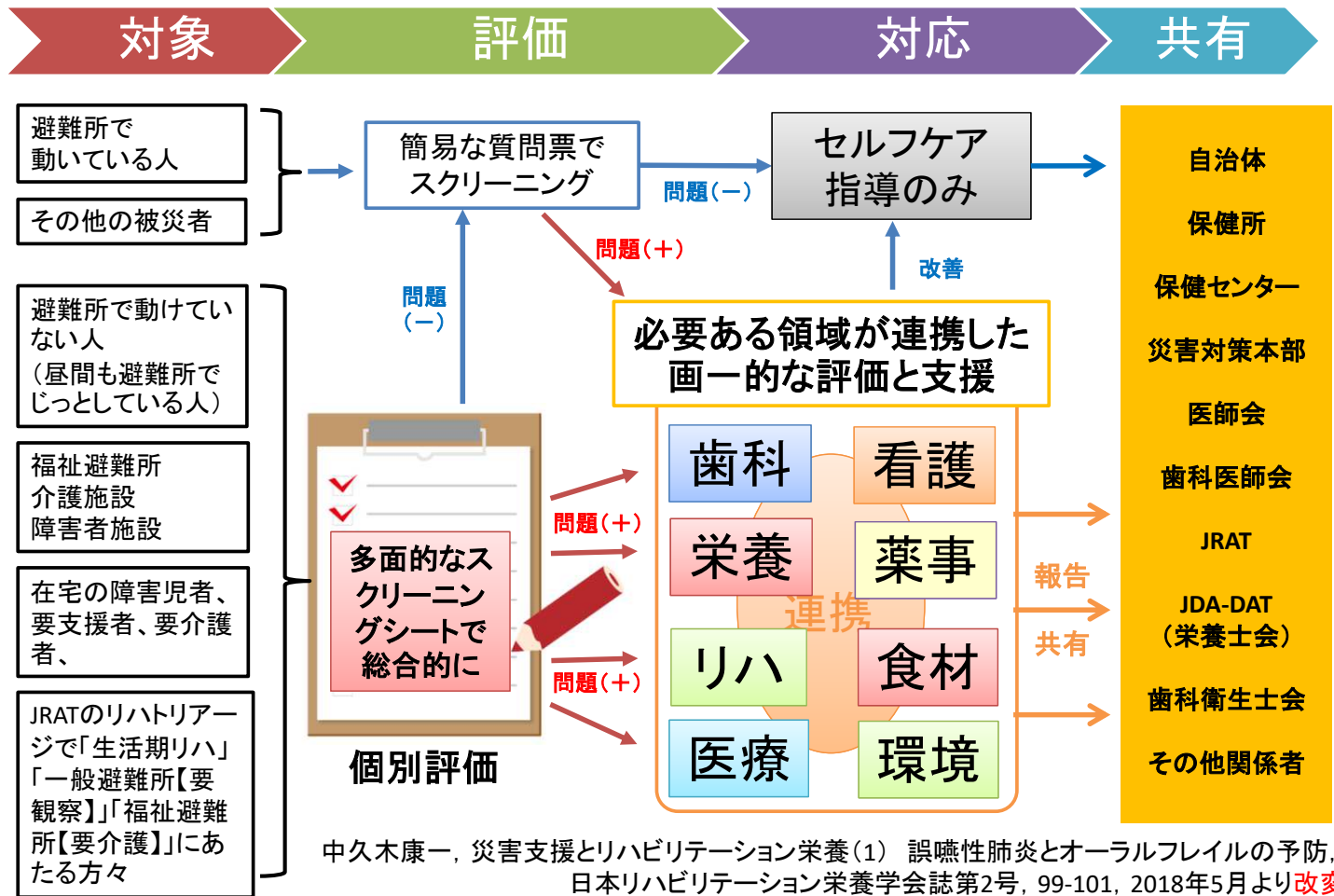
日本災害医学会ニュースレター
2022年11月号



食料・水
食企業、運送



多職種での「食べる」支援における個人アセスメントと情報共有



(試案)災害時の「食べる」評価

【体調全般】

○ 体調に変化はありませんか	1 災害前と大きくは変わらない 2 災害後はあまり良くない 3 災害後に体調を崩した
○ 疲れはたまっていますか	1 疲れを感じてはいない 2 疲れは少し感じている 3 疲れとともに、考えがまとまらない、思い 出せない、感情的になりやすい、などの変化 を感じている
○ 夜は眠れていますか	1 おおむね眠れている 2 眠ってはいいるが、十分には眠れていない 3 眠れていない

【口腔】

○ 固いものが食べにくくなりましたか ※フレイル基本25/オーラル	1 食べにくい 2 もともと食べにくいに変化なし 3 食べにくくなった
○ お茶や汁物等でむせますか・ むせるようになりましたか ※フレイル基本25/オーラル	1 むせない 2 もともとむせやすいに変化なし 3 むせやすくなった
○ 口内炎ができましたか	1 口内炎はできていない 2 もともと口内炎はできるが、災害後も変化 なし 3 口内炎ができた/口内炎が悪化した
○ 口が渇くようになりましたか ※フレイル基本25/オーラル	1 渇かない 2 もともと渇くに変化なし 3 渇くようになった
○ 味覚の変化がありますか	1 味覚に問題はない 2 もともと味覚が悪いに変化なし 3 味覚が悪くなった/悪化した
○ 入れ歯の調子は悪くなりましたか (入れ歯を使っていない方は「いいえ」)	1 入れ歯はもともと使っていない 2 入れ歯の調子は悪くない 3 もともと調子が悪いに変化なし 4 調子が悪くなった
○ 歯みがきの回数は、1日2回より 少なくなりましたか ※オーラル	1 2回以上 2 もともと少ないが回数に変化なし 3 1回または0回に減った

試案

【栄養】

○ 排便について変化を教えてください	1 便秘ではない 2 もともと便秘で変化なし 3 便秘になった/便秘が悪化した
○ 水分をとる(飲む)量は、減りましたか	1 災害前と変わらない/増えた 2 減った
○ 食べる量は、減りましたか	1 災害前と変わらない/増えた 2 減った
○ 食欲はありますか	1 もともとと同じく食欲はある 2 もともと食欲はないに変化なし 3 食欲が落ちた/食欲不振が悪化した
○ 体重は、減りましたか/減った ように感じますか	1 災害前と変わらない/増えた 2 減った/減ったと感じる 3 わからない

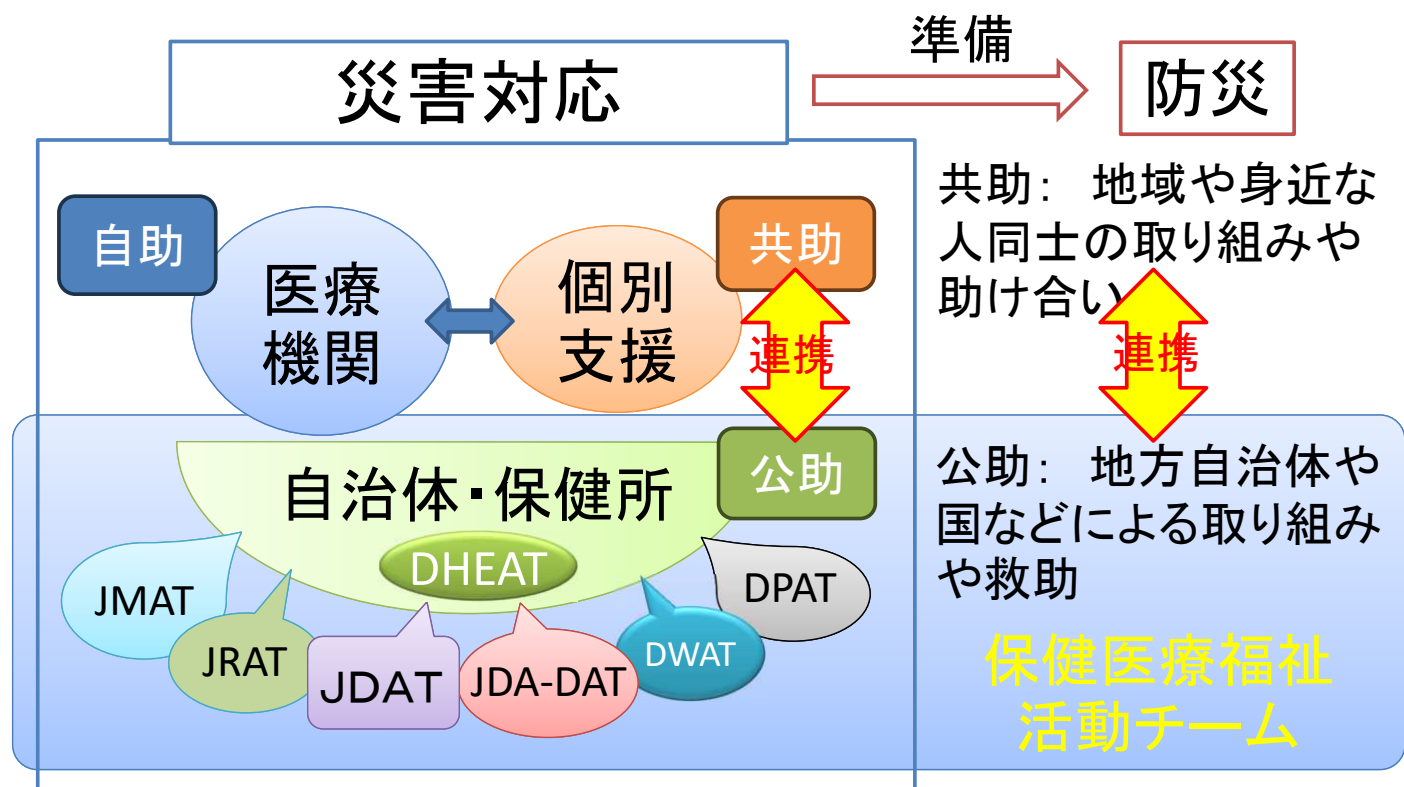
【活動】

○ 活動量の変化について教えてください ※フレイル11	1 災害前より増えた 2 災害前と同じ活動量だ 3 避難後に活動量が減った
○ 手すりや壁を伝わらずに動けますか	1 問題なく動ける 2 もともと伝って動くに変化なし 3 伝って動くようになった/悪化した
○ 転びそうと不安を感じるようになり ましたか ※フレイル基本25	1 感じない 2 もともと転倒の不安はあるに変化なし 3 感じるようになった/転倒の不安感が増した

【環境】

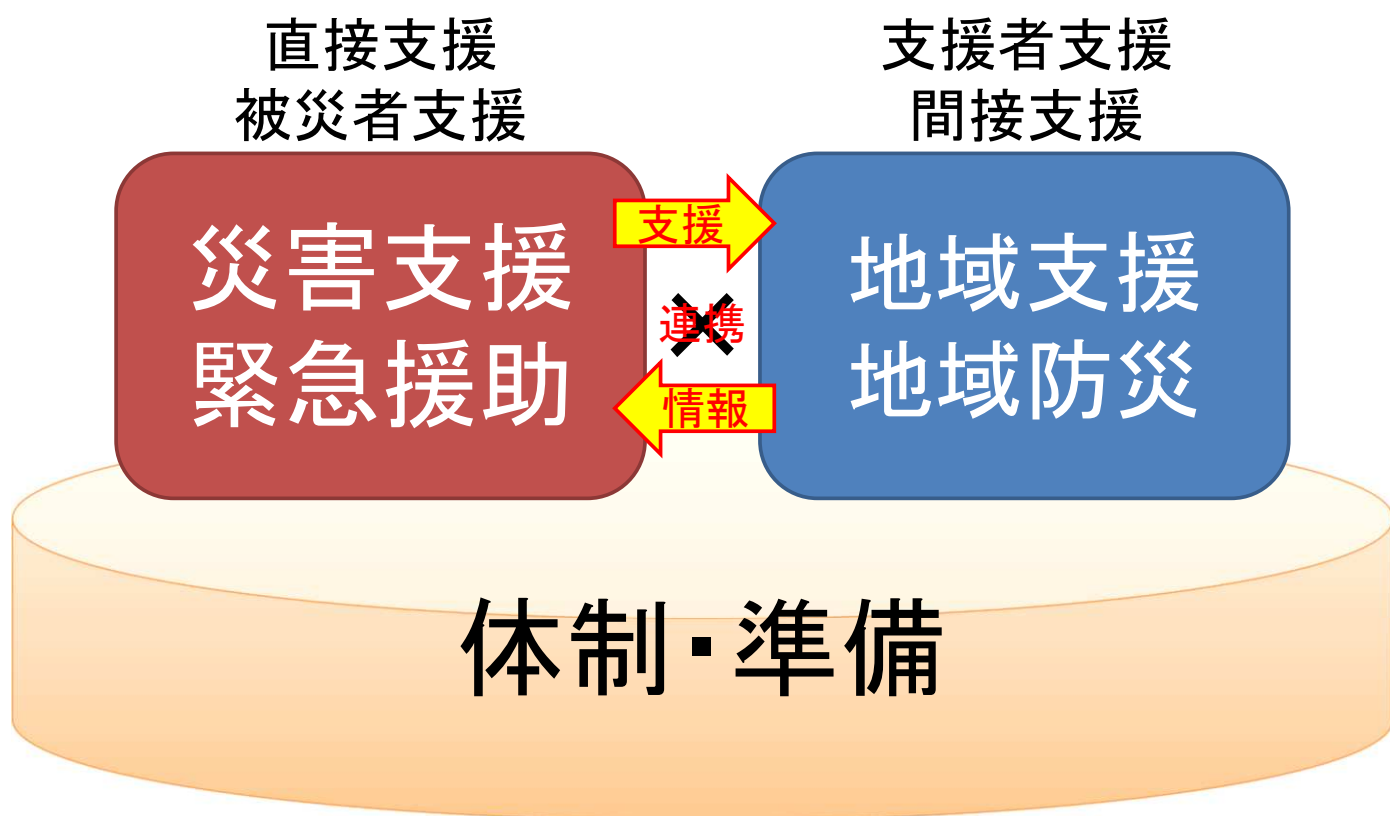
○ 水分を飲みたい時に、苦労なく 自分ひとりで自由に手に入れる ことができますか	1 自由に手に入れられる 2 もともと自分ひとりで難しいに変化なし 3 手に入れられない/困難さが増した
○ 食料を食べたい時に、苦労なく 自分ひとりで自由に手に入れる ことができますか	1 自由に手に入れられる 2 もともと自分ひとりで難しいに変化なし 3 手に入れられない/困難さが増した
○ 食事をする時に、食べやすい 環境ですか(机と椅子など)	1 食べやすい環境だ 2 もともと比べ食べにくい環境だが問題なし/ 工夫している 3 食べにくい環境だ
○ トイレは、行きたい時に苦労 なく自分ひとりで自由に行け ますか	1 自由に行ける 2 もともと自分ひとりで難しいに変化なし 3 自由に行けない/困難さが増した

災害保健医療支援における関係者



支援： 共助や公助では足りない部分も含め、外部から補い支えるもの

災害対応 → 対策・防災





お近くの方々にも
お伝えください。
配布等に
承諾は

いつもの生活を
取りもどす！

熊本地震で被災された皆さまへ

いつもの生活を
取りもどすための
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ

2016年4月28日発行

2016年5月12日更新

2016年5月18日更新

いつもの生活
を続けられる
準備をしよう！

災害の「備え」チェックリスト

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan



監修／内閣府政策統括官（防災担当）、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ☐ 水 | ☐ 軍手 |
| ☐ 食品
(ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、
乾パンなど：最低3日分の用意!) | ☐ 洗面用具 |
| ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| ☐ 衣類・下着 | ☐ タオル |
| ☐ レインウェア | ☐ ペン・ノート |
| ☐ 紐なしのズック靴 | —— 感染症対策にも有効です!! —— |
| ☐ 懐中電灯（※手動充電式が便利） | ☐ マスク |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 手指消毒用アルコール |

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 大人用紙パンツ | ☐ 入れ歯 | ☐ デリケートゾーンの洗浄剤 |
| ☐ 杖 | ☐ 入れ歯用洗浄剤 | ☐ 持病の薬 |
| ☐ 補聴器 | ☐ 男性用吸水パッド | ☐ お薬手帳のコピー |

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

- ・歯ブラシ→やわらかめ
- ・歯間ブラシ
- ・デンタルフロス→糸ようじ
- ・義歯用ケース→食品保存密封容器
- ・液体ハミガキ
(5年保存・1回分)



水が不要な口腔ケア用品



少ない水での入れ歯のケア



うがいの不要な歯みがき剤

液体

ジェル

フォーム



医薬部外品

医薬部外品

医薬部外品

+ 洗面所

災害時のために歯科がしておくべきこと

住民

- 非常持ち出し袋に「歯ブラシなどの口腔衛生用品」などを入れるよう啓発



行政

- 避難所における衛生の管理
- 洗面所(歯みがきスペース)の確保・設置
- 歯ブラシ(大人・子ども用)・歯みがき剤・義歯用品等の確保



- 口腔衛生・口腔機能の維持・管理による健康管理の必要性・体制構築

歯科

- 災害時でも口腔衛生管理を継続することを啓発



- それにあたり必要な物品などを循環備蓄



- 栄養・リハビリテーション支援を含めた「食べる」ための支援を提案、確立
⇒フレイル、誤嚥性肺炎予防

- 災害時の口腔衛生管理・口腔機能管理を啓発

介護・福祉

保健医療者

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT（日本災害歯科支援チーム）	▼ JDATロゴマーク
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会
▼ 日本歯科医師会の災害対策	▼ 計画・規程等
▼ 災害時の歯科保健医療、身元確認に関する根拠法等	▼ 都道府県歯科医師会が締結している協定等
▼ アクションカード・アセスメント票	▼ 避難所掲示・配布用ポスター等
▼ これまでの災害対応＜時系列＞	▼ 災害歯科コーディネーター研修会
▼ 災害歯科保健医療・身元確認関連書籍	▼ 日歯HP 関連情報

● JDAT（日本災害歯科支援チーム）

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科医療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年（2022年）3月22日に日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設されました。



厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業 研修会（2025年度現在）赤字は2024年度から変更

JDATロジスティクス研修会（計画中）

- ・各構成団体におけるJDAT事務局対象
- ・2024年度からロジスティクス基礎研修会をオンライン開催

JDATアドバンス研修会（2020年度～）

- ・対象は各構成団体よりの推薦者
- ・東京にて年3回（地域別）、実地
- ・事前動画・事前課題あり、当日は意見交換が主体

JDAT標準研修会（2018年度～（旧：体制研修会））

- ・eラーニング（標準編1時間）による事前研修あり
- ・基本は地域開催（主催：各構成団体及び傘下団体）、対象は主催者で設定可
- ・日本歯科医師会開催はオンラインにて年1回、対象は各構成団体の推薦者

JDAT基礎研修会（2024年度～）

- ・eラーニングのみ（基礎編2時間30分）
- ・どなたでも、いつでも、もちろん無料！
- ・PDFにて修了証発行

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



歯8020テレビ

歯とお口の情報

動画で一般向けに平易につくられています
(それぞれ6分ほど)
過去に災害時に地元
ケーブルTVで放映さ
れたこともあります

災害時こそ大切！
お口のケア

<1>備えておくこと
<2>自分でできること

歯科訪問診療

ダウンロード 500KB (50.3MB) 1.5MB (125MB)	ダウンロード 500KB (52.6MB) 1.5MB (124MB)
ダウンロード 500KB (27.1MB) 1.5MB (65.1MB)	ダウンロード 500KB (28.3MB) 1.5MB (70.9MB)

災害時こそ大切！お口のケア

ダウンロード 500KB (50.3MB) 1.5MB (125MB)	ダウンロード 500KB (50.3MB) 1.5MB (125MB)
---	---

歯科衛生士のお仕事

ダウンロード 500KB (27.1MB) 1.5MB (65.1MB)	ダウンロード 500KB (28.3MB) 1.5MB (70.9MB)
--	--



公益社団法人

日本歯科衛生士会

English お問い合わせ サイト

一般の方へ

日本歯科衛生士会概要

入会案内

研修・学習・認定

歯科衛生士だより・学生だより

日本

共通書式
マニュアル
ポスター

災害時、私たちにできること



被災者の口腔保健と健康増進を支援します

避難生活では口
が生じます。し
イ登録の方法

共通書式なども
まとめたマニュアル

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行う
ための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現
場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021

<https://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/download.php>

方

覚えてください、防災にオーラルケア。

被害が甚大な災害時には、まず最初に食料や水、毛布などの必需品が求められます。
「1日や2日、食を断ちかねても大丈夫。(それくらい我慢できる。)」と思われがちです。
しかし、「気持ちが良い」というような気分のなさを以外に、お口を衛生的に保つことには重要な意味があります。

■ 災害時、歯みがきが不十分だと身体に影響を及ぼします。 ■ 災害時の備えに、液体ハミガキとハブラシを準備してください。

災害時のオーラルケアは、歯の健康を保つだけでなく、食生活の乱れによる栄養不足や、ストレスによる免疫力低下を防ぐ効果があります。また、歯の健康を保つことは、感染症の予防にもつながります。歯の健康を保つことは、感染症の予防にもつながります。歯の健康を保つことは、感染症の予防にもつながります。

万一の災害から逃れることができて、その後のオーラルケアが不十分で健康を損なう方を一人でもなくしたい。
サンスターは、これらもオーラルケアの重要性を多くの方にお伝えし、
災害時のお役に立てたように全力を尽くしていきたいと考えています。

健康は、おうち、からだ。
災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

http://jp.sunstar.com/bousai/

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

肺炎を防ぐために歯みがきを！

- ・お口が清潔でないと細菌が増殖し、肺炎になりやすく、全身の病気の悪化につながります
- ・高齢者は特に注意が必要です

入れ歯をきれいにして肺炎を防ぎましょう

- ・お口を清潔に保つには入れ歯のお手入れが大事です
- ・食後に入れ歯をきれいにしましょう
- ・夜寝るときは入れ歯をはずしましょう

ハブラシがないとき

- ・食後に少量の水やお茶でうがいをします
- ・ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります

だ液を出す工夫を

- ・だ液はお口の中をきれいに保つはたらきがあります
- ・耳の下、ほお、あごの下を手でもんだり、あたためると、だ液が出やすくなります

水が少ないときの歯みがき

- ・約30mlの水を用意
- ・水でハブラシをぬらして歯みがきします
- ・含み間にハブラシの汚れをティッシュでふきとります
- ・コップの水を少しずつお口に含み、2〜3回にわけて、すすぎます
- ・液体ハミガキ、洗口液があれば、水のかわりにお使いください(水でのすすぎは不要)
- ・うがい薬もお口を清潔に保つのに効果的です

監修：神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 足立了平先生
提供：一般財団法人 サンスター財団、サンスターグループ

SUNSTAR

<https://jp.sunstar.com/bousai/>

Mouth & Body Topics VOL.3

健康な口 健康な身体

人々の健康を口から守る ～災害時の誤嚥性肺炎予防の事例から～

中久木 康一氏

東京医科大学大学院 医学部総合研究科 国際歯科学分野 助教

足立 了平氏

神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 教授

災害時の健康を守るには、口から守ることが重要です。災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

災害時の健康を守るには、口から守ることが重要です。災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

災害について

災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

「防災にオーラルケア」啓発活動紹介

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

災害時には、食料や水の不足、ストレスによる免疫力低下など、様々な要因で健康が損なわれる可能性があります。口を清潔に保つことは、感染症の予防にもつながります。

https://jp.sunstar.com/bousai/pdf/mouth_and_body_03.pdf

1

東京医科歯科大学救急災害医学分野／日本災害時公衆衛生歯科研究会
中久木康一 nakakuki@biglobe.jp / jsdphd-admin@umin.org



特別企画

歯科の災害保健医療支援

お口の健康が命を救う!

大規模災害が起こったとき
現地で保健医療支援活動を行うのは、医科の医療者だけではなく、
歯科医療者も、歯と口腔の面から被災者のかたたちの健康を支えています。
一般にはあまり知られていない歯科の災害時の保健医療支援活動について、
熊本地震で日本歯科医師会の災害歯科コーディネーターを
務めた先生にお話をいただきます。

イラスト 大島裕子



お話を伺ったのは...
東京医科大学
大学校理部外科学分野助教授/
日本歯科医師会 災害歯科コーディネーター
中久木康一先生

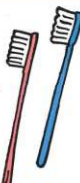


非常用持ち出し袋に入れておきたい
オーラルケアグッズ

基本セット

歯ブラシ

歯ブラシを携帯している避難所
は多くありません。
お口に合ったふだん使いのものを
入れておきましょう。



歯間ブラシ・フロス

歯間ブラシは、
自分の歯の隙間に
あったサイズであることが不可欠。
フロスも避難所には
まず置いてありません。



液体ハミガキ

液体タイプの歯みがき剤があると、
使用する水が節約できます。
刺激の少ないノンアルコールのもの
がよいでしょう。



口腔ケア用の
ウェットティッシュ

うがいをする水がないときにも
手軽にお口をきれいにできます。
未開封のものをに入れておきましょう。

オーラルプラス 口腔ケアウェット
スクラブタイプ 30枚入 (アサヒグループ食品)

入れ歯ケースや清掃用品

●入れ歯をお使いのかたは、
保管用に入れ歯ケースを。
入れ歯は乾燥すると劣化しますし、
ティッシュなどにぐにぐにで置いておく、
ゴミと間違えて捨てられてしまうことも、
また、外して置いておくところがないからといって、
つけっぱなしはお口の粘膜を傷めてしまいます。



入れ歯洗浄シート
デントヘルス アンチバクテリア
どこでも入れ歯洗浄シート (ライオン)

●入れ歯の清掃のために、
入れ歯用のブラシや洗浄剤も忘れずに。
入れ歯洗浄シートも便利です。



入れ歯ケース

入れ歯用ブラシ

入れ歯洗浄剤

入れるかに迷ったら……

…ラルケア製品メーカーの
サンスターやライオンのウェブサイトでは、
非常時の持ち出し品のチェックリストが
掲載されています。被災時の清潔や
健康ケアについての情報も
まとめてありますので、ご活用ください。



サンスター
<http://jp.sunstar.com/bouai/top.html>
ライオン
<http://www.lion.co.jp/ja/emergency-cas/>

DIAMOND online

新着 業界 学び 特集 書籍

避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】

真島加代：清談社

健康 | ニュース3面掲載

2024.11.28 4:00



写真はイメージです Photo:PIXTA

能登半島地震発生から11カ月がたった。この間も、能登半島は水害に見舞われるなど自然の脅威にさらされ、多くの人不安な日々を過ごしている。災害によって家を失くした人々が身を寄せる避難所では、さまざまな物資が不足し、行動を制限された日々を送らなければならない。しかし、極限状況なかでも「口腔（こうくう）内のケア」を怠ると、その後の生活に暗い影を落とすリスクがあるという。

(清談社 真島加代)

被災地での水不足が
健康リスクを高める

被災地での水不足が
健康リスクを高める

避難所での生活が
フレイル(虚弱)を
加速させる

被災時にも活躍する
オーラルケア用品



避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】

ダイヤモンド・オンライン 2024.11.28 <https://diamond.jp/articles/-/353929>

能登半島地震による被災者の口腔への影響と、
地域で連携した「食べる」支援の継続

寄稿 中久木 康一, 長谷 剛志

2025.04.08 医学界新聞:第3572号より

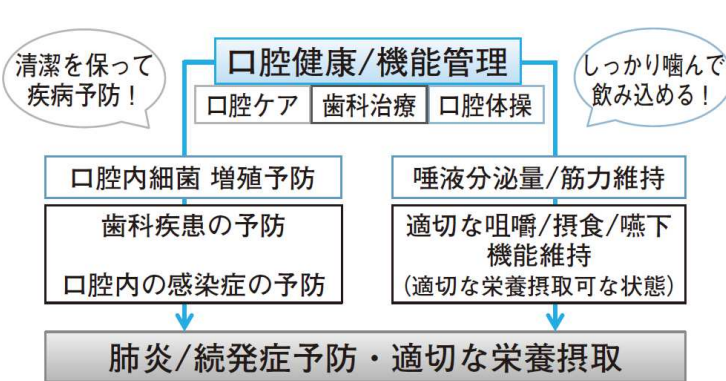


図1 災害時の口腔健康管理/口腔機能管理

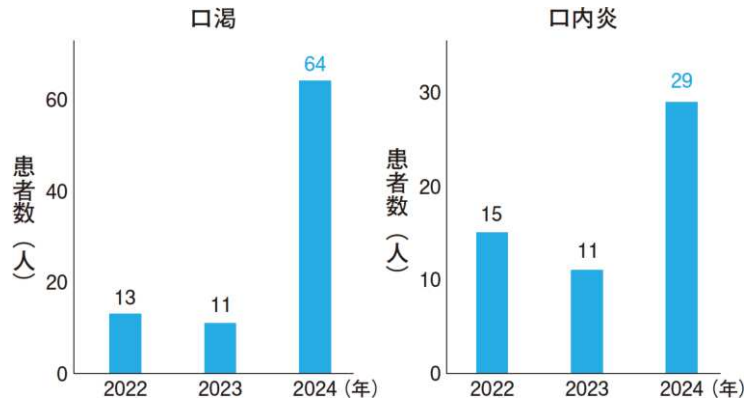


図2 能登半島地震後に増加した口腔の主訴
公立能登総合病院歯科口腔外科における1月
1日～2月29日の2か月間の受診数。

【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続

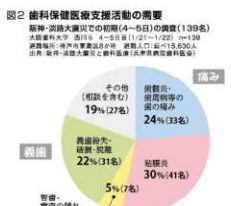
2025.04.08 医学界新聞:第3572号, <https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572> 05



**今日から始められる
かきつけ顔料の災害対策**

災害時、被災者は家も仕事もなくし、家族も見失われ、面を磨くなんて思ってもいない状況にあります。そこに着いて口塗りの重要性を一言ふりこくとしても、理解はできても行動に移す余裕はないです。一度時が過ぎれば、顔に化粧料を描けることには、有事と無事に、口塗りを思い出す力になると思えます。特に、救済のボランティアさんには、この「口塗り」を授けるのが生きた、お口の防災において重要な役割を担います。

顔料製品は防パズに登場するこれらの顔料製品の多くには、まず、目録使て



「文脈」とは、文脈を受ける側がもつるものとを尋ね、調整の都合で提供するチームとを支援する側が「調整」の都合や「論理」による「切りかた」の文脈にならないように、前後の文脈の在り方を意識し、かつ、地域関係者の意見をもとに活動の計画を計算していく」と語ります。

と「古いのを売って新しいのを買おう」といふ。でも、災害だけのために、いつも買ひ取りに待つてゐる。

[illegible]

「保健科保健活動がベース」

災害が起きたときは、その最前線（フロンティア）によって、発生しうる保健科の問題が変化します（図1）。

最初期は、避難津中の転倒にちやて義歯が歯肉に刺さる等の外傷も少なくありませんが、膝下・腰・肩・首・腕・足等の口唇指爪に傷、擦傷・すり傷・擦れ傷等の口唇指爪の損傷が最も多いと見られます。

また、非常事において「口唇指爪の先度」は低くなくとも、被災者は歯を磨くことが難しく、口内環境が悪化します。

そして、災害発生から4～5日が経つ頃には、「歯肉炎・歯冠炎・歯肉腫」にまで増え、粘膜炎や歯肉の腫れ、歯肉の潰れ・破壊といった問題が発生します（図2）。たゞ飲み水が

[illegible]

では、歯科医療従事者はどのようにして被災地と関わり得るのでしょうか。〈補綴科〉
支那の事例との区別からお話しします。
支那、歯科医療従事者が被災した場合は、
被災地において歯科科長を兼ねるという形
にしたいと考えています。これは、地元の
人に派遣された〈災害歯科支援チーム〉が
被災地に入ること、早くも災害発生後、
1週間ほどは〈援手チーム〉の到着まで、生
活の口を医療機関を守るものは、被災して
いる歯科医療従事者だけでなくあること
です。
また、災害支援チームが到着したら全く
を任せられないという、限りがあます。
被災地の歯科医療従事者が情報を共有し、
支援チームを取り下し、地域に住

[illegible]

歯科の常識 vol.07

歯科業界に関係する最新の知識を、様々な切り口から特集する本企画。第7回は、災害発生時に歯科医療従事者が求められる役割と事前の対策について、災害時の歯科保健医療の体制づくりに取り組む中久木康一先生にお話を伺いました。

災害時の歯科活動
——もし明日、
歯科医療従事者に

災害が起きたら？
められる役割とは



東北大学大学院 歯学研究科
災害・環境歯学研究センター
ながく せいのいち
中久木 康一先生

日本災害時公衆衛生歯科研究会

<http://jsdphd.umin.jp/>



日本災害時公衆衛生歯科研究会

Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D

メーリングリスト
各種書式・パンフレット
研修媒体動画
研修会資料・動画

ポスター・パンフレット	記録票・資料	研修教材	研修会記録	書籍・報告書	ML登録
-------------	--------	------	-------	--------	------

2015年6月15日発刊
一世出版
A3判 2000円

目的

災害時に歯科口腔保健に必要な...について検討し、必要な場所、必要な時に、必要な歯科口腔支援を届けるため、具体的・実践的な...研修動画・活動動画・研修準備資料など

アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど

意義や目的として、下記などがあげられる。

- 1) 災害時の歯科保健の標準化などの提案を出していくシンクタンク
- 2) 災害時の多職種連携での対応のあり方を探り体制を構築していく
- 3) 研修の題材やスタイルを作成し、それを試し完成させていく
- 4) 必要であれば出張研修の依頼を受ける母体

日本災害時公衆衛生歯科研究会 ML登録係
jsdphd-admin@umin.net

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

※YouTubeにリンクが飛びます

	○ 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク ・ 個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要 ・ 個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説 ・ 個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説 ・ 個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説 ・ 個別複数アセス記載 記載の注意事項
	○ 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント ・ Scene 1 高齢の女性 ・ Scene 2 幼児がいる女性 ・ Scene 3 歯が痛い男性 ・ Scene 4 高齢の母とその娘 ・ Scene 5 じっとしている男性 ・ Scene 6 高齢者の介護者
	○ 活動記録紹介動画 ・ 2016年 熊本地震 ・ 2017年 九州北部豪雨

日本歯科衛生士会
協力

動画 5分
1カ月の活動の流れ

動画 10分
組織的間の役割分担や準備